

八千代市内の有刻板碑集成

一覧表及び拓影と翻刻集

蕨 由美

2024年11月27日 改訂版



はじめに

中世の石造物の板碑は、地域の中世の歴史を語る数少ない資料のひとつとして、重要視されてきました。

八千代市内で見つかった板碑については、村田一男氏により八千代市史編さん事業の中で中世の金石文として集成され、平成3年に刊行された『八千代市の歴史 資料編 原始・古代・中世』では、149基の板碑が一点ずつその出土地と銘文、梵字、法量が記述されていて、地域別の分布や時代による推移、宗派の別などが分析できるデータとなっています。

その後、平成20年刊行の『八千代市の歴史 通史編』では、25基増えて171基の板碑の集計（表無刻を含む）が載っていますが、残念ながら25基のそれぞれのデータは示されていません。

また、令和になってから、村田氏指導で八千代市郷土歴史研究会による神野の土井昭雄家の多量の板碑群の発見と調査があり、この発見の成果を八千代市郷土歴史研究会主催の展示会などで市民へ周知したことにより、さらに神野と小池で新に2基が発見され、2024年8月現在、市内全体のその数約二百基を超えると推定されます。

このうち、無刻の板碑や破片を除き市内の全有刻板碑165基を選別して、そのデータを集成し、「八千代市有刻板碑集成一覧表」を作成しました。

近年の板碑研究では、銘文や梵字のみではなく、蓮座や花瓶（けびょう）の形態、二条線の有無、異体字などの情報により分析、考察されるようになり、例えば、『八千代市の歴史 通史編』では、道上文氏が正覚院館跡の板碑を拓本写真からその蓮座の特徴を「蝶型蓮座板碑」と紹介され、八千代市近隣市と多く見つかっている多摩川下流域の分布状況と蓮座の特徴から板碑生産の工房の探求を試みています。

今後の板碑研究のためには、板碑一点ずつの拓影の収集とその公開が必須であると考え、八千代市立郷土博物館から、村田氏が寄贈した館蔵の拓本の複写を提供いただき、『市史』記載のデータと照合する作業を行ってきました。

今回、村田氏寄贈の館蔵拓本による47基（重複、照合不能の3点を含む延拓本数51点）、館蔵の板碑実物から新たに採拓した12基、蕨が採拓または所蔵の22基、『市史』及び千葉県が調査した報告書からの転載5基の計86基の拓影と

その翻刻をまとめ、「拓影と翻刻集」を作成しました。

とはいうものの、個人や寺院の所蔵する約半数の板碑については、採拓を伴う再調査が今後も必要で、また照合不能の3点の館蔵拓本も確定していかなければなりません。

今回の八千代市の有刻板碑集成は未完で不十分ですが、現在の板碑研究の一助になればと思い、2024年8月末現在の集成データを、とりあえず手作りの印刷製本で刊行し、博物館や図書館に寄贈、また研究者個人にはPDFデータで配布させていただくこととしました。

今後、八千代市立郷土博物館及び八千代市郷土歴史研究会の再調査を経て、八千代市内の板碑と拓影のすべてがいずれ明らかにされることを願ってやみません。

最後に、集成のための館蔵資料調査にご協力いただいた八千代市立郷土博物館と同職員の常松成人氏、所蔵資料の調査をお許しいただいた神野の土井昭雄氏と三橋一宏氏と小名木伸雄氏、佐山の妙福寺様、小池の妙光寺様と浅野弘行氏、平戸の染谷正行氏、真木野地区の区長様、また調査と採拓にご協力くださった八千代市郷土歴史研究会の会員皆様、下高野と正覚院追加分データについての村田氏の手書きメモをご提供いただいた道上文氏、拓影からの翻刻に際してご教授いただいた房総石造文化財研究会会長の早川正司氏と板碑研究家の野口達郎氏に、厚く御礼申し上げます。

2024年9月10日

八千代市郷土歴史研究会 会員
蕨 由美

参考文献

- (1) 『八千代市の歴史 資料編 原始・古代・中世』八千代市 平成3年(1991)
- (2) 『八千代市の歴史 通史編 上』八千代市 平成20年(2008)
- (3) 『千葉縣史料 金石文篇』第一・二・三卷 千葉県史料調査会 昭和50～54年
- (4) 『史談八千代』第46～48号 八千代市郷土歴史研究会 2021～2023年
- (5) 「船橋印西線埋蔵文化財調査報告書3—八千代市間見穴遺跡—」(財)千葉県文化財センター 2004年

作成者 蕨 由美 (わらび ゆみ)

住所：〒285-0837 佐倉市王子台

e-mail sawarabi-y◎nifty.com (◎⇒@に)

主な著書及び論文掲載誌

- ・『やさしさを遺して 蕨俊介・その作品と思い出』蕨俊夫・蕨由美 編著 2007年 現代書館
- ・『印西の歴史』第8号 印西市教育委員会 2015年
- ・『日本の石仏』第154号 日本石仏協会 2015年
- ・『印西市石造物調査報告書 本埜地区の石造物』印西市教育委員会 2022年
- ・『史談八千代』第15～48号 八千代市郷土歴史研究会 2010～2023年
- ・『房総の石仏』第20～29号 房総石造文化財研究会 2020～2023年

八千代市内の有刻板碑集成 一覧表及び拓影と翻刻集

作成 蕨 由美

発行 2024年9月10日初版 11月27日改訂版

私家版 非売品